RITSUMEIKAN UNIVERSITY

第8回年次大会の魅力 ― 人と地球の未来を共に創る

話題提供：大会実行委員長
立命館大学経営学部 教授　依田 祐一

Futurize.
きみの意志が、未来。

© Ritsumeikan Trust All Rights Reserved

Agenda

「第8回年次大会の魅力」

1. 大会テーマと問い
2. 見どころ① 基調講演・パネルディスカッション
3. 見どころ② 分科会・研究発表・ポスター
4. 見どころ③ つながる場（IGAI・情報交換会ほか）
5. 2日間の全体像と参加方法



© Ritsumeikan Trust All Rights Reserved

1．大会テーマと問い

大会テーマ：「サステナビリティとソーシャル・イノベーション：人と地球の未来を共に創る」

目的

「知」と「実践」の融合。サステナビリティを“真の目的”とするソーシャル・イノベーションを探究

方法

経営学をはじめとする多様な学問分野と、実践の視点からアプローチ

問い

単一組織の枠を超え、多様な主体が有機的に結びつくビジネス・エコシステムをいかに構築するか

議論

理論と実践の往還を通じ、持続可能な社会に向けた実践知を深く議論

エコシステムを構成する主体

大学　企業　社会起業家　行政　市民　投資家

本大会の問い：人と地球の未来を共に創るビジネス・エコシステムを、いかに構築するか？

© Ritsumeikan Trust All Rights Reserved

2．見どころ①　基調講演・パネルディスカッション

11/14（土）13:20–15:20　H棟2階 H202　　解題 → 講演×3 → パネル → まとめ（モデレーター：依田）

技術　**講演①　価値を生む**

柴田 晃 氏

立命館大学 日本バイオ炭研究センター
名誉センター長

バイオ炭によるカーボンマイナスの技術と社会実装

実践　**講演②　企業が実装する**

遠藤 理恵 氏

株式会社セールスフォース・ジャパン
執行役員

**サステナビリティ経営の実践
―ビジネスは世界を変える
プラットフォーム―**

資金　**講演③　投資で持続させる**

酒井 克也 氏

学校法人立命館 常務理事
立命館ソーシャルインパクトファンド（RSIF）

ソーシャルインパクト投資による社会起業家支援

パネルディスカッション：多様な主体によるエコシステムをいかに構築するか
技術でカーボンマイナスの価値を生み → 企業が実践し → インパクト投資で持続させる。その結びつき方を、登壇者3名と会場で議論します。

© Ritsumeikan Trust All Rights Reserved

3．見どころ②　分科会企画（公募型）12件

11/14（土）11:00–12:30

1 SI実践演習 研究発表（大学連携型SI人材養成）

代表：畑中 寛

2 アートの実践から、創造のプロセスと評価を問い直す

代表：スプリー・ティトゥス

3 観想教育の場の生成（SEE Learning Japan）

代表：依田 真由美

4 小中高生が「研究者」になる社会（Coda school）

代表：西口 優毅

11/14（土）17:10–18:10

5 研究者と非研究者による超学際研究と共感形成

代表：村井 拓人

6 デジタル社会の消費者・事業者の双方向コミュニケーション

代表：雪 美保子

7 内発的イノベーションのプラットフォーム構築

代表：中島 恵理

8 SI人材開発プログラム：SIアカデミー再起動

代表：内藤 達也

11/15（日）14:40–16:10

9 ソーシャル・イノベーション教育の「テキスト」を考える

代表：川中 大輔

10 つながり育み型SI：社会的孤立の防止と地域共生

代表：露木 真也子

11 「地域活性化」の外側に立つとき：研究知と実務知の対話

代表：早川 公

12 観光資源から防災資源へ：民泊による災害時住まい支援

代表：小林 和子

© Ritsumeikan Trust All Rights Reserved

４．見どころ②　研究発表20本・ポスター11件

研究・実践報告（論文付き）　11/15 9:30–11:20

SIと経営学視点	**3本**	主査：依田 真美
SIの普及	**3本**	主査：八木橋 慶一
コモンズとSI	**3本**	主査：島岡 未来子
地域モデルとSI	**3本**	主査：大和田 順子
個の変容を考える	**3本**	主査：今里 滋
SIの再構築	**2本**	主査：新川 達郎
レジリエンスとSI	**3本**	主査：服部 篤子

各報告20分＋質疑10分。主査・質問者が対話を深める

ポスター発表（論文不要）　11/15 13:30–14:30

- 文系・理系研究者間の共感形成の障壁
- 市区町村から始める自律した生活の取り戻し方
- 赤い羽根福祉基金10年の成果と社会的インパクト
- 大学間連携SI人材育成における資格制度
- 均等法世代の経験の可視化・共有を通じた人生100年時代のライフデザイン支援ーパターン・ランゲージ「私たちのこれからをつくることば」の開発を通じて
- 物流業界の従業員ウェルビーイング指標
- 協働に先立つ「誘引的媒介基盤」（前橋市）
- 上海のコミュニティガーデンとウェルビーイング
- 人・地域・自然の共進化（再生的サステナビリティ）
- レトロコンテンツと福祉的サードプレイス（M-GTA）

11:35–12:15 ポスター・分科会スピーチ
― 関心のある発表を事前に見つける

© Ritsumeikan Trust All Rights Reserved

5．テーマの広がり：知と実践が交差する6つの領域

経営・組織・ガバナンス

スチュワード・オーナーシップ／Collective Impact／ボランタリー組織論／ウェルビーイング指標

教育・人材育成

SI人材養成・資格制度／観想教育／小中高生の研究／SI教育のテキスト／大学教育と創造性

地域・福祉・共生

福祉×アップサイクル／高校魅力化と地域ウェルビーイング／社会的孤立の防止／寺院という「場」

環境・防災・レジリエンス

バイオ炭とカーボンマイナス／被災地の造船クラスター／民泊による災害時住まい支援／ゼロ・ウェイスト

文化・アート・内面の変容

アートと創造のプロセス／いけばな療法の海外普及／四国遍路と心理的変容／フォルケホイスコーレ

デジタル・新技術

Web3と地域コミュニティ（山古志Nishikigoi NFT）／デジタル・プラットフォームと「サードプレイス」

© Ritsumeikan Trust All Rights Reserved

6．見どころ③　つながる場

11/14（土）15:30–17:00

サブセッション
“One Planet”／SI将来構想WS

基調講演に続くサブセッション。ソーシャル・イノベーションの将来構想を参加者と共に考える

11/14（土）18:20–20:00

情報交換会

GARDEN TERRACE LION 立命館いばらきフューチャープラザ店。登壇者・発表者と直接語り合える

11/15（日）12:20–13:20

IGAIネットワーク（対面版）

Interaction・GAthering・Innovation。BGMとコーヒーのある空間で研究テーマを出し合い、仲間を見つける

今日のオンラインIGAIの続きを、会場で。　※会場近くにファミリースペースも用意（見守りスタッフなし）

出典：第8回年次大会プログラム（2026年11月版）および大会Webサイト（https://jassi.jp/convention/）より作成

© Ritsumeikan Trust All Rights Reserved

7．2日間の全体像

11月14日（土）Day 1	
10:30–	受付開始
11:00–12:30	分科会企画 1–4
13:00–13:20	開会式・チェックイン
13:20–15:20	**基調講演・パネルディスカッション**
15:30–17:00	“One Planet”／SI将来構想WS
17:10–18:10	分科会企画 5–8
18:20–20:00	**情報交換会**

11月15日（日）Day 2	
8:45–	受付開始
9:30–11:20	**研究発表（20本・7セッション）**
11:35–12:15	ポスター・分科会スピーチ
12:20–13:20	**昼食＆IGAIネットワーク**
13:30–14:30	ポスター発表（11件）
14:40–16:10	分科会企画 9–12
16:20–16:50	閉会式

会場：立命館大学 大阪いばらきキャンパス（OIC）H棟　／　出典：第8回年次大会プログラム（2026年11月版）

© Ritsumeikan Trust All Rights Reserved

8．参加方法

大会参加費

日本SI学会会員	無料（9月末日までに会費納入済み）
学生	無料（社会人学生・大学院生を除く）
一般（非会員）	4,000円

情報交換会（11/14 18:20–）

一般 6,000円／学生 4,000円

大会参加とセットでのお申込みのみ

お申込み・入会

大会・情報交換会：Peatix（siday2026.peatix.com）

学会入会：jassi.jp/application/

※当日の会場受付でも入会できます

問い合わせ：第8回（2026）年次大会実行委員会事務局　sitaikai@jassi.jp

出典：日本ソーシャル・イノベーション学会 第8回年次大会Webサイト（https://jassi.jp/convention/）より作成

© Ritsumeikan Trust All Rights Reserved

9．まとめ：学会そのものが「エコシステム」

問う

基調講演・パネル

技術・実践・資金の3つの立場からエコシステムの具体像を示す

交差する

分科会12・研究発表20・ポスター11

研究者・実践者・学生・企業・行政が、理論と実践を往還する

つながる

IGAI・情報交換会・将来構想WS

主体同士が出会い、新たな研究と実践の仲間を見つける

理論と実践の往還を、11月14日・15日、立命館大学OICで共に。

このあとの話し合いへの問いかけ

・どの企画・発表に関心を持ちましたか？　・会場で、誰と・どんなテーマで話してみたいですか？

© Ritsumeikan Trust All Rights Reserved